

主催：大沼ラムサール協議会、大阪大学＋東京大学フューチャー・デザイン・プロジェクト、北海道渡島総合振興局  
後援：一般財団法人北海道大沼国際交流協会、北海道ラムサールネットワーク、Wetland Seminar 協力：七飯町

ラムサール条約登録湿地は現在全国52カ所となっており、北海道は最も多い13カ所が登録されています。  
その中で地域観光や学習といった拠点としてだけでなく、地域の人々が集まり活動を行う「ワイズユースな基地」となる  
地域活性化拠点の可能性について様々な角度から講演していただくシンポジウムを開催いたします。  
本シンポジウムにて、今後の大沼地域の可能性の「種」を考えてみませんか。

# 「ワイズユースな基地」ができれば ～あつまる、まなぶ、つくる、うまれる～」

講演者：牛山 克巳 宮島沼水鳥・湿地センター  
桜井 みちる 大沼岳陽学校英語教諭  
梶田 真未 NICE (日本国際ワークキャンプセンター) 短期主催事業部主任  
杉野 弘明 東京大学農学部助教  
司 会：武田 裕之 大阪大学＋東京大学フューチャー・デザイン・プロジェクト

とき：11月6日 fri. 18:00～20:00 会場30名程度、zoom参加100名

ところ：大沼国際セミナーハウス 第1研修室

お申し込みはQRコードまたは電話、メールにて承ります。

大沼ラムサール協議会 TEL: 67-5855

Mail: onumaramsar01@gmail.com

